

# インフラメンテナンスWG 活動紹介

田島 智子  
(株)エイト日本技術開発

## インフラメンテナンスWG 活動紹介

### <WG設立の経緯>

- ・海外では、まだまだメンテナンスに対する考えが未熟な国も多い。
- ・日本は笹子トンネルの崩落事故以降、メンテナンスに関する技術を磨いてきた。
- ・“予防保全”という考え方を海外展開できれば、海外進出のチャンスとなる。

### <活動目標>

- ・日本のメンテナンス技術を海外展開する方法、仕組みづくりを検討する。  
“橋梁を軸として、予防保全をテーマに検討”

### <主な活動内容>

- ・動向調査、事例収集
- ・技術者の声、ニーズ調査
- ・要素技術の売り込み方法検討(マッチング)
- ・資金調達の方法を整理
- ・海外現地視察(トルコ：長大橋WGに同行)
- ・情報共有プラットフォーム構築に向けて

### <メンバー>

役職	氏名	勤務先
小委員長	小沼 恵太郎	パシフィックコンサルタンツ (株)
WGリーダー	田島 智子	(株)エイト日本技術開発
委員兼幹事	高山 弓美	パシフィックコンサルタンツ (株)
サブリーダー	佐々木 栄洋	(株)栄組
サブリーダー	平野 邦臣	日本工営 (株)
WGメンバー	阿部 玲子	Oriental Consultants India Pvt. Ltd.
WGメンバー	井谷 達哉	(株)IHIインフラシステム
WGメンバー	井上 学	(株)IHIインフラシステム
WGメンバー	大倉 章弘	本州四国連絡高速道路 (株)
WGメンバー	大寺 泰輔	(株)エイト日本技術開発
WGメンバー	高木 収	(株)長大
WGメンバー	齋藤 和哉	(株)エイト日本技術開発
WGメンバー	曳野 誠也	大日本コンサルタント (株)
WGメンバー	山本 武司	フルサト工業 (株)

# インフラメンテナンスWG 活動紹介

## <活動計画> 検討の対象

### ◆要素技術の市場拡大

- ・ 予防保全の観点でアプローチ
- ・ 現地に合った仕様、現地技術者が求めるものとは
- ・ 新技術（協働ロボット）、作業や点検の自動化

### ◆アセットマネジメント

- ・ 国際吊構造橋梁管理者会議（傍聴）
- ・ 現地技術者とのコミュニケーション
- ・ AM手法導入事例調査

### ◆日本とのマッチング

- ・ 現地ニーズ、展開方法（営業方法や仲介機関）
- ・ マッチングの場等の検討は、ビジネスモデルWGと連携する

### ◆技術教育

- ・ ODA（JICA）、国際センターへの聞き取り
- ・ 職業訓練校

### ◆コスト面

- ・ モノづくりは海外、運用（技術面）は日本で行う
- ・ 資金調達→①日本企業向け、②現地向け

# インフラメンテナンスWG 活動紹介

## <検討項目>

### ①要素技術の売り込み

- ・ 個社の要素技術の売り込み方

### ②資金調達

- ・ 資金調達のメニュー出し

### ③技術者の声、ニーズ

- ・ 国内外の技術者へのヒアリング等

### ④海外現地視察 トルコ

- ・ 現地インフラ、メンテナンス状況確認
- ・ 現地の橋梁管理者へヒアリング等

### ⑤プラットフォーム構築

- ・ WG内での検討事項を発信できる場所

# インフラメンテナンスWG 活動紹介

## <課題と今後の展開 1/2>

### ①要素技術の売り込み

要素技術の売り込み方法検討のため、本邦研修に合わせたデモを実施したが、今回はうまく次に繋がられなかった。

⇒活用方法、対応を工夫すれば良い方法である。

技術デモをリストアップして各所（土木学会、国交省等）へ共有しておくとうい。

<課題>

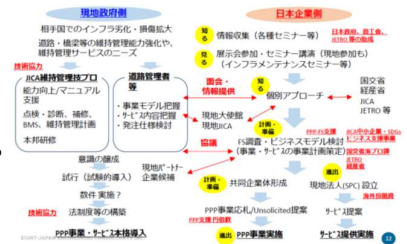
- ・相手のニーズとのマッチングが難しい
- ・売り込む側の意識が重要
- ・対面でのやりとりがベスト

### ②資金調達

資金面、売り込み方の検討について、下記の視点で整理した。

- ・『日本企業向け』と『現地向け』メニュー
- ・【要素技術】と【コンサルティング技術】

⇒資金援助等のメニューを知りたい人が、すぐに探せる場所、共有できる場所が必要  
既に同じようなページは存在しているが、検索が容易ではない。



# インフラメンテナンスWG 活動紹介

## <課題と今後の展開 2/2>

### ③技術者の声、ニーズ

現地技術者や、海外事業に関わっている技術者の声を集め、『あるある』としてリストアップし、課題や解決策検討した。

⇒具体的な事例が出てきて面白かった。

“よくある質問”のような形で、どこかで共有する場所が必要



### ④現地視察 トルコ

現地視察において、メンテナンスに対する考え方は各国で特色がある。日本のメンテナンス技術に対して、興味は持ってくれている。

⇒BoT事業で建設された橋梁等が国に返還されるタイミングが、日本のメンテナンス技術売り込むチャンスであると思われる。

日本の技術をそのまま持って行くことはできない。現地に適応させることが必要



### ⑤プラットフォーム構築

WGで収集した情報を共有できるプラットフォーム（案）について検討した。

既存の情報共有ページも多数存在するが、ほしい時に必要な情報が見つからない

⇒HP、SNSの活用

いかに見やすく、探しやすくするか、情報更新・管理方法はどうか